

引用・参考文献

- 阿部眞理子. (2020). 性教育の今を考える～日本思春期学会に求められていること～学校における性教育 外部講師に期待すること, 思春期学, 38(1), 24-29.
<https://search.jamas.or.jp/link/ui/2020263480>.
- 有馬美保, 宮井信行. (2022). 中学生における性情報の取得状況と性に対する意識との関連, 母性衛生, 63(1), 154-164.
- 岡崎愉加. (2016). 中学生の子どもをもつ親の「思春期の性に関する子育て」への意識, 岡山県母性衛生, 32, 37-38.
https://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=eb7okabs/2016/000032/016&name=0037-0038j&UserID=1100006523-AA&base=jamas_pdf
- 小倉由紀子, 北川眞理子. (2010). 家庭での性教育における親の果たすべき役割, 日本助産学会誌, 24(2), 333-344.
- 小倉由紀子, 谷口美智子, 箕川あゆみ, 矢島悟子. (2013). 家庭での性教育における親子の意識と影響要因, 日本看護学会論文集(母性看護), 43, 96-99.
- 河内浩美, 渡邊典子, 小柳恭子, 久保田美雪. (2008). 中学生の子どもをもつ両親とその子どもの会話に関する調査, 新潟青陵大学紀要, 8, 139-148.
- 川邊恵美子. (2023). いのちの授業 いのちの教育 手作り教材を中心に, 小児保健研, 82(2), 130-134.
- 北村邦夫. (2011). 産婦人科医が行う“これからの性教育”, 産婦人科治療, 103(2), 198-204.
- 公益財団法人日本財団. (2021). 日本財団 18 歳意識調査を実施 第 39 回 テーマ:「性行為」. 日本財団. <https://www.nippon-foundation.or.jp/who/news/pr/2021/20210728-59807.html> (検索日: 2023 年 3 月 20 日)
- 厚生労働省. (2007). 5 母体保護関係. 厚生労働省.
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/eisei/07/kekka5.html> (検索日: 2023 年 6 月 15 日)
- 厚生労働省. (2014). 5 母体保護関係. 厚生労働省.
https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/eisei_houkoku/14/dl/kekka6.pdf (検索日: 2023 年 6 月 14 日)

- 厚生労働省. (2019). 母の年齢(5歳階級)・出生順位別にみた出生数
https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei19/dl/08_h4.pdf. (検索日: 2023年6月3日)
- 厚生労働省. (2019). 人口動態総覧の年次推移.
https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei19/dl/04_h2-1.pdf. (検索日: 2023年6月4日)
- 厚生労働省. (2020). 5母体保護関係. 厚生労働省.
https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/eisei_houkoku/20/dl/kekka6.pdf (検索日: 2023年6月5日)
- 齋藤益子. (2018). わが国の性教育の現状と課題, 現代健康性教育ジャーナル, 87, 1-8.
https://www.jase.faje.or.jp/jigyo/journal/seikyoiku_journal_201806.pdf
- 参議院. (2018). 質問主意書. 参議院.
<https://www.sangiin.go.jp/japanese/joho1/kousei/syuisyo/196/touh/t196203.htm> (検索日: 2023年7月10日)
- 島田友子. (2017) 中学校教員の性の健康教育に対する意識と課題, 名桜大学総合研究, (26), 85-94.
- ジョイセフ. (n.d.). 知ってる?わたしのSRHR. JOICFP.
https://www.joicfp.or.jp/jpn/know/about_srhr/what_is_srhr/ (検索日: 2023年10月15日)
- セーリフ・タティヤーナ. (2023). 日本における性教育の課題 ~家庭向けの図書を中心に~, 人間社会環境研究, 45, 1-9.
- 片岡千恵, 佐藤貴弘, 泉彩夏. (2021) 中等教育の性教育における日本の保健体育教員の経験, International Journal of Sport and Health Science, 19, 58-64.
<https://search.jamas.or.jp/link/ui/2022238359>
- 高橋幸子. (2022). 【aya世代の女性ヘルスケア-対応と実際-】 aya世代を応援する性教育の現状と未来, 産婦の実際, 71(10), 1021-1026.
<https://search.jamas.or.jp/link/ui/2023009279>.
- 高橋幸子. (2022). 性教育学と性教育(実践)を繋ぐには 私が考える性教育と性教育学「多様な性教育教材づくり 性教育の「教科化」をめざして今、外部講師にできること」, 思春期学, 40(1), 113-117.

<https://search.jamas.or.jp/link/ui/2022171581>

高橋幸子, 上原美子, 木村環, 金子由美子, 田代美江子, 鈴木幸子. (2019). 埼玉県における性教育の広がりとは十代の人工妊娠中絶率 外部講師も活用した多職種連携による埼玉県の性教育の広がり, 思春期学, 37(1),

58. <https://search.jamas.or.jp/link/ui/2019231699>

竹俣由美子, 木村留美子. (2010). 思春期の子どもの性に関する研究 第1報 一性に関する親子の会話と性情報の入手について一, 金大医保つるま保健学会誌, 34(1), 79-90.

竹俣由美子, 木村留美子, 津田朗子. (2014). 小中学校教師の性教育に対する認識と今後の課題, 金沢大学つるま保健学会誌, 38(1), 29-43.

東京都. (2018). 中学校等における性教育への対応について. 東京都.

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2018/04/26/24.html> (検索日: 2023年4月8日)

東京都教育委員会. (2019). 性教育の手引き. 東京都教育委員会.

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/files/about/text_kiso.pdf (検索日: 2023年4月8日)

東京都教育委員会教育庁. (2022). 都立学校で産婦人科医によるユースヘルスケア相談が受けられるようになります. 東京都教育委員会.

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/press/press_release/2022/release20220930_02.html (検索日: 2023年12月30日)

公益社団法人日本産婦人科医会. (n. d.). 世界の性教育. 日本産婦人科医会.

<https://www.jaog.or.jp/note/%ef%bc%883%ef%bc%89%e4%b8%96%e7%95%8c%e3%81%ae%e6%80%a7%e6%95%99%e8%82%b2> (検索日: 2023年3月10日)

戸村佳美, 緒方京, 我部山キヨ子. (2022). 小学校高学年の男児を持つ母親の家庭における性教育への思いと現状, 思春期学, 40(3), 291-302.

中村雅恵, 加藤由香. (2023). A 県の小学校・中学校における性教育の実態から考える, 思春期以上の小児がん患者に対する生殖機能(妊孕性)温存に関する説明内容, 小児看護学, 46(2)

日本性教育協会. (2015). 「若者の性」白書. 青少年の性行動全国調査報告第8回. 小学館. 2019.

- 野々山未希子. (2015). 中学生の保護者が希望する性教育と家庭での親子の会話, 日性感
染症会誌, 26(1), 117-125.
- 野々山未希子. (2017). 女子中学生と母親の性に関する会話頻度と母親から娘に伝えたい
性情報, 思春期学, 35(1), 111-112.
- 橋本紀子, 篠原久枝, 田代美江子, 鈴木幸子, 広瀬裕子, 池谷壽夫, 良香織, 小明彦, 渡
部 真奈美, 茂木輝順, 森岡真梨. (2011). 日本の中学校における性教育の現状と課
題, 教育学研究紀要「教育とジェンダー」研究, 9, 3-20.
- 平田知子, 四宮美佐恵, 安田陽子, 高尾緑, 新居涼子. (2021). 助産師が性教育で生徒に
伝えたい思い, 新見大紀, 42, 89-93.
- 堀川修平. (2023). 「日本に性教育はなかった」と言う前に ブームとバッシングのあい
だで考える, 柏書房.
- 堀部美穂, 渡邊正樹. (2012). 家庭における性教育の促進要因と抑制要因 —札幌市にお
ける小学校6年生を持つ母親に対する調査結果より—, 学校保健研究, 53, 549-562.
- 毎日新聞. (2022). 毎日新聞. 「第一人者」の村瀬幸浩さん／上 家庭向け書籍、異例の
人気. <https://mainichi.jp/articles/20220829/ddm/013/100/012000c> (検索日:
2024年1月8日)
- 松本禎明, 中村ひかる, 藤原道弘. (2022). 中等教育機関における性教育実施に係る課題
と対策に関する研究, 九州女大紀, 59(1), 23-33.
- 村井文江, 江守陽子. (2014). 小学校3年生の保護者がとらえる“性教育”と“家庭に
おける性教育の取り組み”に関する質的分析: 思春期の子どもを持つ家庭における性
教育の支援の検討に向けて, 思春期学, 32(1), 176-187.
- 村上道子, 赤井由紀子. (2016) 学校現場で助産師が行う性教育のあり方 教員の質問紙
調査から, 母性衛生, 57(2), 410-414.
- 茂木輝順, 久保田美穂, 池谷壽夫, 橋本紀子, 関口久志, 森岡真梨, 田中和江, 加野泉.
(2022). 日本の中～大規模中学校の教育課程 における性教育の位置付け, 現代性教
育研究ジャーナル, 136, 1-11.
https://www.jase.faje.or.jp/jigyo/journal/seikyoiku_journal_202207.pdf
- 森口範子. (2019). 助産師と養護教諭による事前連携が及ぼす 「いのちの出前授業」へ
の導入効果, 九州看護福祉大学紀要, 20(1), 65-74.
- 森本眞寿代, 光石敬子, 貝原明子, 南里美貴. (2019). 思春期の家庭における性教育一文

献レビューから見えてきた父親・母親それぞれの特徴ー, 思春期学, 37(1), 137-148.

橋本紀子, 篠原久枝, 田代美江子, 鈴木幸子, 広瀬裕子, 池谷壽夫, 長香織, 小宮明彦, 渡部真奈美, 茂木輝順, 森岡真梨. (2011). 日本の中学校における性教育の現状と課題, 教育学研究室紀要「教育とジェンダー」研究, 93(20).

松井弘美, 工藤里香, 村田美代子, 小林絵里子, 岡田麻代. (2021). 助産師が実践するいのちの教育からの児童生徒の学び, 日助産会誌, 35(2), 196-208.

ユネスコ編. (2020). 国際セクシュアリティ教育ガイダンス. 明石書店.

吉備智史, 池田真理, 上別府圭子. 子どもに対する「いのちの教育」の内容とその実践に関する専門家インタビューの質的分析, 小児保健研, 2020;79(1):83-91.

渡辺大輔. (2023). 【思春期と性の多様性】思春期における性の多様性と社会的課題, 思春期学, 40(4), 321-327.

NPO 法人ピルコン. (2016). 高校生の性知識・性意識・性の悩みに関する調査.

[https://pilcon.org/wp-](https://pilcon.org/wp-content/uploads/2015/04/6a90f1cd42dd5ae984e065c5fa6675ca-1.pdf)

[content/uploads/2015/04/6a90f1cd42dd5ae984e065c5fa6675ca-1.pdf](https://pilcon.org/wp-content/uploads/2015/04/6a90f1cd42dd5ae984e065c5fa6675ca-1.pdf) (検索日: 2023年3月10日)

NPO 法人ピルコン. (2020). 「妊娠したかも…」 休校措置以降、10代の妊娠に関する悩み相談が急増. [https://pilcon.org/wp-](https://pilcon.org/wp-content/uploads/2020/05/b6511a814d4eb707d60dee2e930a98ff.pdf)

[content/uploads/2020/05/b6511a814d4eb707d60dee2e930a98ff.pdf](https://pilcon.org/wp-content/uploads/2020/05/b6511a814d4eb707d60dee2e930a98ff.pdf) (検索日: 2023年3月10日)